

27年度決算議会が開かれました！ 山口議員は総会質疑で様々な課題について質問しました！



福岡市議会では、28年10月5日から10月21日までの17日間、27年度決算について審議を行いました。

山口議員は、決算特別委員会で「幼児教育の環境」・「子どもの貧困対策と高校進学」・「介護保険と地域包括ケアシステム」について質疑を行いました。

質問時間は、会派として83分ありそれを3人が登壇しましたので、1人概ね28分です。答弁を含めると約1時間の質疑を行っています。

【27年度決算の特色】

- ①黒字化の達成・・・一般会計の実質収支は約107億円の黒字・特別会計は約93億円の黒字
- ②市債残高の減少・・・H27末で2兆3800億円余りでピーク時(H16)より約3700億円減少
市民一人当たりでは、ピーク時(191万円)から約44万円減少して147万円になる
- ③収入の状況・・・法人市民税と個人市民税ともに増加して、市が自由に使える一般財源は前年度と比較して96億円増加し、義務的経費も他の政令市の平均値56.5%となった
- ④他の経営判断状況・・・健全化判断比率や公営企業の資金不足比率ともにクリアしている

条例予算特別委員会の質疑から

※議会質疑の詳細は、福岡市議会会議録
ホームページをご覧ください。

◆ 幼児教育の環境について ◆

保育園不足の中、家庭内保育を行っている家庭にも支援が必要と指摘しました。子どもプラザは市内14カ所ありそこでは保育士が育児相談など話を聞いていきます。ホームページをご覧ください。また乳幼児検査では、健診に来られなかった家庭を訪問するなど最後の一人まで徹底して状況確認しています。特に障がい疑われる子どもたちには専門医療機関と連携して支援を行っています。

◆ 介護保険と地域包括ケアについて ◆

介護保険の内、一部が総合事業に移行します。介護予防と日常生活支援事業のサービスが始まります。相談窓口は各区役所で受け付けすることになっていますので、ご相談ください。また「いきいきセンター」が、市民の皆様の窓口になります

◆ 子どもの貧困対策について ◆

生活自立センターで仕事や各種手続きを行っています。まずは家庭生活を安定して、国のメニューである地域未来塾を福岡市も設置し高校進学のため苦手科目克服を目指します。また、国へも奨学金の貸与から給付へと制度を変えるよう審議が始まりました。

ウォーターフロント地区整備がスタートしました！（中央ふ頭・博多ふ頭）

本年10月、整備概要が発表されました。対象区域は、約65haになります。整備完了は、おおむね20年～30年後を目指します。

平成33年に世界水泳が福岡市で開催されるので、第2期展示場の建設と立体駐車場を先行して整備していきます。

また、中央ふ頭には、大型クルーズ船が2隻同時接岸できるよう岸壁を延長し、ベイサイドプレイスがある博多ふ頭と一体ににぎあいの水辺空間を目指してまいります。

アクセス道路の完成まで、まずは連結バス（天神・博多駅～ウォーターフロント）を走らせます。



産後ケア事業・産後ヘルパー派遣事業が12月よりスタートします！

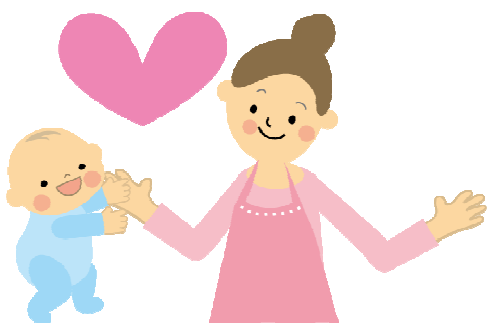
公明党市議団への市民相談から産後ケアの支援策が、まとまり本年12月1日より実施するようになりました。

産後早期に家族などの支援が受けられず、困っている家庭へ心のケアや育児のサポートをする事業です。

【サービスの内容】

- ★ 宿泊型のショートステイと日帰り型を用意
- ★ ヘルパー派遣で育児や家事をサポート

※それぞれ本人負担の利用料が必要です。今後の申請方法は、11月に決定致します。



保育所設置・運営者を公募します

保育所不足のため平成29年度分の保育所設置の公募（10/21～2/17まで）を行います。

公募対象エリアは ○香椎・香住が丘、○名島・千早・IC、○博多駅、○天神・舞鶴、○大濠・唐人町、○六本松・平尾、○野間・高宮、○大橋、○百道・西新、○原・飯倉、○愛宕・姪浜、○今宿・元岡の当初12カ所です。公募の詳細は募集要項をご覧ください。こども未来局事業企画課です。福岡市ホームページにもあります。



ご意見・ご質問・ご要望をお寄せ下さい

TEL: 711-4728 FAX: 741-4597 <議員控室>

山口 つよし

《担当役職》
議会運営副委員長
議会改革特別委員会副委員長
第2常任委員会委員
(保健福祉・教育・こども担当)

